



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,350	11.4	586	84.9	637	82.7	413	123.6
28年12月期第3四半期	3,904	—	317	—	349	—	184	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 555百万円(152.2%) 28年12月期第3四半期 220百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	27.45	26.79
28年12月期第3四半期	12.29	12.04

- (注) 1. 当社は、平成28年7月1日付で1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。
 2. 平成27年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	5,106	2,803	53.3		
28年12月期	4,539	2,189	47.7		

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,723百万円 28年12月期 2,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成29年12月期の配当金につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	20.1	800	24.4	830	20.8	550	15.2	36.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) ウェルプレイド株式会社、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	15,059,400株	28年12月期	15,048,800株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	90株	28年12月期	90株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	15,054,490株	28年12月期3Q	15,036,956株

(注) 当社は平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、平成27年12月末のスマートフォン保有率は72.0%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成28年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成28年の市場規模は前年比13.0%増の1兆3,100億円と順調に拡大しております(出所：電通「2016年 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模(予測)は、平成28年度は9,450億円、平成29年度には9,600億円と、安定的な成長が見込まれております(出所：矢野経済研究所)。

このような事業環境の中で、当社グループは良質なコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでもらえるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,350,766千円(前年同期比11.4%増)、営業利益は586,817千円(前年同期比84.9%増)、経常利益は637,852千円(前年同期比82.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は413,206千円(前年同期比123.6%増)となりました。

当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、1,224,662千円(前年同期比22.5%増)となりました。

② ソーシャルゲーム

「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園！ポケット」が順調に推移しております。また、組織を拡充するとともに新規開発ラインに積極的に投資を行う中で、事業規模の拡大を図っております。この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、2,221,163千円(前年同期比0.9%減)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。コミュニティに適した機能の拡充に努めるとともに、「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。その中で、「Lobi」の強みであるユーザーやコミュニティにより焦点を当てた収益構造への転換を図っております。この結果、Lobi関連の売上高は、353,528千円(前年同期比19.6%減)となりました。

④ その他サービス

平成29年3月、5月及び8月に「JAGMO」による公演を開催いたしました。また、「プラコレWedding」等の新規サービスも順調に成長を続けております。さらには、e-sports事業を営むウェルプレイド(株)の子会社化により、グループ全体としてゲーム周辺領域のさらなる拡充を図りました。この結果、その他サービス関連の売上高は、551,411千円(前年同期比146.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ567,349千円増加し、5,106,733千円となりました。主な要因は、鎌倉開発拠点施設関連の取得等に伴う有形固定資産及び無形固定資産の増加452,341千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ46,868千円減少し、2,303,026千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少110,930千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ614,218千円増加し、2,803,707千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加413,206千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成29年2月14日公表の「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184,883	1,957,072
受取手形及び売掛金	905,515	903,365
仕掛品	38,220	196,826
その他	145,731	143,416
貸倒引当金	△28,953	△40,453
流動資産合計	3,245,396	3,160,226
固定資産		
有形固定資産		
土地	551,127	664,669
その他(純額)	78,473	231,057
有形固定資産合計	629,601	895,727
無形固定資産		
のれん	177,807	276,506
その他	48,199	135,715
無形固定資産合計	226,006	412,221
投資その他の資産		
投資有価証券	273,366	474,962
その他	165,013	165,235
貸倒引当金	—	△1,638
投資その他の資産合計	438,380	638,558
固定資産合計	1,293,987	1,946,507
資産合計	4,539,384	5,106,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,036	202,100
1年内返済予定の長期借入金	112,570	154,640
未払金	190,083	180,364
未払費用	166,349	182,863
未払法人税等	215,439	90,141
その他	157,831	210,507
流動負債合計	1,020,309	1,020,617
固定負債		
長期借入金	1,287,308	1,176,378
その他	42,277	106,031
固定負債合計	1,329,585	1,282,409
負債合計	2,349,895	2,303,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,354	495,272
資本剰余金	433,354	439,153
利益剰余金	1,066,006	1,479,212
自己株式	△113	△113
株主資本合計	1,992,601	2,413,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,830	309,782
為替換算調整勘定	337	△159
その他の包括利益累計額合計	174,168	309,623
新株予約権	22,719	33,304
非支配株主持分	—	47,254
純資産合計	2,189,488	2,803,707
負債純資産合計	4,539,384	5,106,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,904,841	4,350,766
売上原価	2,310,624	2,581,468
売上総利益	1,594,217	1,769,297
販売費及び一般管理費	1,276,842	1,182,480
営業利益	317,375	586,817
営業外収益		
受取利息	270	163
受取配当金	1,669	2,030
補助金収入	27,293	11,999
助成金収入	8,500	42,300
その他	141	1,037
営業外収益合計	37,874	57,531
営業外費用		
支払利息	2,433	2,100
支払手数料	1,000	—
為替差損	2,087	3,747
その他	604	648
営業外費用合計	6,125	6,496
経常利益	349,123	637,852
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
投資有価証券評価損	30,000	—
特別損失合計	30,000	—
税金等調整前四半期純利益	320,123	637,852
法人税、住民税及び事業税	135,730	201,746
法人税等調整額	18,496	15,652
法人税等合計	154,227	217,398
四半期純利益	165,896	420,454
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,890	7,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,786	413,206

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	165,896	420,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,805	135,951
為替換算調整勘定	△1,237	△496
その他の包括利益合計	54,567	135,454
四半期包括利益	220,464	555,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,354	548,661
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,890	7,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、稲村ガ崎三丁目不動産㈱及びウエルブレイド㈱の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間より、㈱カヤックLIVINGを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。